

工学部講演会
長瀬産業株式会社 NVC室室長
折井 靖光先生

ビッグデータ時代におけるAIの重要性と
それを支える脳型デバイス
～AIは新しい材料を発見できるか？～

長年IBMでビッグデータやAIの分野で活躍された折井先生は、その経験を生かした新たな産業分野の創成を、長瀬産業で展開されています。ビッグデータの現状、課題、将来展望も含めた講演をベースに、AIを駆使した材料開発についても紹介していただけます。IBMのワトソン君も登壇の可能性あり、見逃すとソンするかも

なお先生はいつも、一般の方にもインパクトのある講演をされます。そこで幅広い層の方々に拝聴していただけるよう講堂での講演会開催にさせていただきます。

【日時】平成30年 6月12日 (火) 16:20～17:50

【場所】岐阜大学 講堂

問い合わせ先：工学部長 村井利昭 (内線2614)
mtoshi@gifu-u.ac.jp

ビッグデータの世界：ほんの数例です。

その1

Amazonで書籍を注文、その便利なシステムに魅了されて利用を続けていると、「あなたにお勧めの書籍」のメールが来るようになりました。しかもそれらが当たらずと言えども遠からずです。

その2

ある量販店でのこと、新生児用の紙おむつを購入する顧客の多くが、ビールも併せて購入していることがわかりました。イクメン対象にお店のレイアウトを工夫することになりました。

その3

リン酸化キナーゼを特定すべく、数年間の学術論文およそ20万報のアブストラクトだけをコンピューターが読了。ほどなくキナーゼ二つを特定。それらの論文が発表された数年後、実際にそのことが発表されていました。

その4

あなたの医療診断結果と、多くの患者さんのデータをベースに、今回の症状の原因は何か、コンピューターの見立てと医師の見立てが一つだけ異なっていました。そこでさらに検査を行ったところ、実際には・・・。医療診断の一助になりました。